



# 谷原小だより<sup>9月号</sup>

平成 26 年 9 月 1 日  
練馬区立谷原小学校  
校長 鈴木 英明

## ★ 9 月が始まりました

校長 鈴木 英明

学校に元気な子どもたちの声が戻ってきました。日焼けした子供たちの顔は、ご家庭や地域そして旅行先等での様々な体験からの充実感や、いろいろな人と共に過ごした楽しかった思い出を物語っているように思えます。

再び、学校生活が始まりますが、学校では、長期休業が終わると新しいめあてを立てる等、目標をもたせて学習をしています。これは、学校生活を充実させていくために意義のある活動の一つです。

実は、自己肯定感を高める研究の一つで「今が思い通りの生活だと思う人ほど過去をマイナスとは思わない」という結果が示唆されています。つまり、過去のことを思い悩むより、今をいかに充実させていくかが大事であり、成功体験によって過去に対する認識を換えることができるということになります。

学校では、夏休みを終えて元気に登校してきた子供たちをいろいろな観点から見直し、成長した子供たちを大いに認め、目標の実現に向けて励まし、子どもたちの意欲につなげていくために全教職員で力を合わせて教育活動に取り組んでまいります。どうぞよろしくお願い致します。

さて、話は変わりますが、この夏、広島のと砂災害というつらく悲しい出来事の報道は、心が痛むとともに自然災害の恐ろしさや人々の安全について、改めて考えさせられました。

そのようなと砂災害の報道の中で助け合うことの大切さに触れた新聞記事がありました。それは、地域に 30 年ほど住んでいるという一般男性が何人もの住民を冷静に誘導したり、アパートの自治会長の女性が「男は集合！」ととっさに叫ぶと、何人かの男性が集まり、泥に埋まってしまった男性 10 分近くかけて救出したりしたという内容の記事です。災害時という特殊性はあるものの地域の一員として、そして人として、この災害の中で助け合うという行動が自然にとれていたのだということに心を打たれました。

きっとふだんから地域の中で助け合いが普通に行われ、他人を思いやる気持ちを大切にしていたのだと思います。将来、地域を支える子供たちにとって、他人を思いやることは身に付けてほしい力、大切に育てていきたい力です。

また、本校は大地震が発生した場合の避難拠点となっています。7 月には区役所、学校、地域の三者で「避難拠点運営連絡会」を行い、避難拠点をいかに運営すべきか等の話し合いを再開しました。この連絡会も地域の人々が互いに助け合う場として継続させていきたいものです。地域・保護者の皆様のご協力をよろしくお願い致します。

最後になりますが、長期予報では、まだまだ残暑が厳しい日が続くと言われています。それ故、この 1～2 週間で生活リズムをきっちり立て直すことが大切です。生活習慣の基本は「早寝・早起き・朝ごはん」です。規則正しい生活を送ることは、人間の脳や体の働きを正常にすること、つまり、健康な体をつくることです。基本的生活習慣の確立についてのご協力よろしく願い致します。

# 教室だより（各学年・専科より）

## 1年生 実りある飛躍の秋に

この秋最も大きな行事は学芸会です。4月からの実態を見ると、声が小さい、自己表出をためらう子が少なくないと感じています。学芸会に向けての取り組みを通して、声を出すことの楽しさや体の動きや声の表情で気持ちを表現することのよさを味わわせたいと考えています。そのためにも、日々の返事や挨拶、国語の音読を通して、美しい日本語が使えるようにしたいと思います。

また、学習でも、国語では漢字や片仮名、算数では繰り上がり・繰り下がり学習します。どれも小学校6年間の基礎になるものなので、どの子もしっかり身に付けられるよう指導していきたいと思っています。

## 4年生

長期にわたる休みが終わり、また、教室にいつもの賑やかさが戻ってきました。今年の夏休み、楽しい思い出はできたでしょうか。決めたことをやり遂げた体験はあったでしょうか。夢中になったものはあったでしょうか。楽しい夏休み、充実した夏休みを過ごせた子は、休み明け、ぐんと成長します。これからの活躍がますます楽しみです。

8月末には、1月に予定されている社会科見学の実際に行ってまいりました。有明「虹の下水道館」で下水についての学習をしたり、水上バスで隅田川に沿って見学したり、浅草で伝統文化や歴史に触れたり…盛りだくさんの学習内容を予定しています。

1学期後半がスタートし、暑い日が続きそうです。生活のリズムを整え、元気に過ごせるよう、ご家庭のご協力よろしく願っています！

## 2年生

時間割の関係で、ラッキーなことに新しいプールに1番乗りした2年生。その後のお天気にも恵まれ、たくさん練習することができました。1年生の時は水に顔をつけるのも怖がっていた子も、水が大好きな子も、この夏はぐんと力を付けました。石拾いゲームで「ひとり1個は拾おう！」と言われ、友達に励まされて、意を決して潜った子。じゃんけんゲームで友達に手を引かれて遊ぶうちに、平気で浮くことができるようになった子。たくさんの友達と助け合い励まし合う中で成長していく姿は夏の日差しの中でまぶしかったです。

夏休みが終わり、久しぶりに会った友達と、今日からまたいろいろなことに挑戦していきます。

## 5年生

長い夏休みも終わり、大きい行事が続く1学期後期が始まりました。

まずは移動教室へ向けて準備が始まります。夏休みに布団の敷き方やシーツのたたみ方の練習をしたことと思います。自主的に協力して過ごす2泊3日。身の周りのことは自分でできるようになることが第一歩です。友達と仲良く過ごすためにも「自分のことは自分でやる！」習慣を日頃から身に付けていきたいものです。

9月には、国語の学習で活動報告書を書く予定です。実際に、七輪でお餅などを焼きその手順などをまとめます。初めて七輪を使う子も多いかと思います。正確に記述できるように指導を重ねていきます。

移動教室後は、連合音楽会、全校遠足、就学時健診のお手伝い、学芸会、社会科見学と続きます。最高学年の6年生へのステップアップとし、一つ一つの行事に全力で取り組んでいきたいと思っています。

## 3年生

夏休み、子供たちのいない教室で今までのことを振り返ってみました。

初めてのクラス替えからスタートした3年生。新しい友達と一緒に様々な行事を経験しました。運動会では、自分の目標に向けてたくさん練習しました。谷原っこ祭りでは、友達と協力して一つのことを完成させることの大変さ、嬉しさを味わいました。個人で頑張ることから、仲間と力を合わせて頑張ることを経験した子供たち。行事を通して、少しずつ成長しています。

夏休み中は、学校のプールにたくさん参加しました。真っ黒に日焼けしていたり、顔を水につけることができなかった子が水に浮けるようになっていたり、練習に力を注いだことがうかがえました。

9月が始まりました。学校生活のペースに戻り、学習、遊び、当番活動など、はじめをもって生活できるようにしていきたいと思っています。

## 6年生

小学校最後の夏休みが終わり、元気な顔が戻ってきました。44日間の過ごし方は様々なようでしたが、今日からまた全員揃って「集団生活」が始まります。

今週の木曜日には、連合水泳記録会が予定されています。夏休みの水泳指導への出席率は大変よく、記録会に向けてがんばろうとする意気込みが感じられました。連合水泳記録会実行委員の考えたスローガン『協力し つながり深めて 成長実感』を目標に、一人一人が自分の最高記録を出せるようがんばります。

また、谷原小学校6年のみんなが一体となって応援し合えるよう、声出しパフォーマーたちが、応援のスタイル（かけ声）を考えました。個人のがんばりを応援する集団のすばらしさを実感できる記録会になりそうです。

実行委員の活動としては、9月から学芸会実行委員も仕事を始めます。実際に劇の内容が決まり、オーディションや練習が始まるのは11月からですが、テーマや内容を考えたり、台本を作ったり衣装や背景を考えたりという下準備を実行委員が始めます。3ヶ月後をお楽しみに。

## ノートの達人になろう！！ ～自分のためのノート作り～

夏休みが終わり、もうすぐ1年間の折り返し地点です。昨年度から、算数科では、自分の考えをしっかりと発信できるようノートの書き方を大切にしています。2年目に入りましたが、みなさんのノートは見やすいですか？

① **見やすく書く！** ・文字や数字はていねいに書く。下敷きを入れる。 ・赤と青の2色の色鉛筆が筆箱の中にあるとよいです（大事なところは色を変えるなど工夫できます）。 ・定規を使う。筆算や答えの下など定規を使って線を引く。他にも大事なところは四角で囲んだり、線を引いたりできます。 ・行間を少しあける。

② **自分の考え・友達の発言を書く** ・問題を自分の力で解くことは大事です。自分の頭で考えたことを、言葉や図や絵にしてみましょう。また自分が思いつかなかった考えや自分が必要だと思ったことは、ノートに付け加えましょう。

③ **学習の感想を書く** ・毎時間行うことは難しいと思いますが、「発見があったなあ」と思ったこと、や「なるほど」と思ったことは、言葉にしてノートにまとめましょう。

算数のノートは、単元によって少々もったいないと思う使い方の時もありますが、見やすくいつでも自分がその学習を振り返ることができるノート作りの練習だと思って大胆に使ってほしいと思います。算数では、特に「自分の考えをノートに書く」という時間を大切にしています。同時に自分の考えを相手に「伝える」つまり相手がわかるように「説明する」力を育てています。問題がただ解けるだけでは、本当にその問題の本質を理解しているとはいえません。分からない人に分かるように説明することができるということは、本当にその問題が分かっているということです。そのためにも自分のノートを分かりやすく書く習慣を身に付けることは、算数の学習効果を高めることにつながります。自分のためのノート作りは、算数のみならず他の教科でも実践してほしいです。

## 9月、10月はじめの行事予定

1日(月) 1学期後期始 給食始 大掃除	18日(木) 秋の歯科検診2、4、6年
2日(火) 安全指導 計測6年	19日(金) セーフティ教室
3日(水) 美化日 計測5年	②低、③高、④協議会
4日(木) 6年連合水泳記録会 健康の日 1～5年生3時間授業(給食あり)	22日(月) クラブ活動
5日(金) 6年連合水泳記録会予備日 計測2年	26日(金) 4年消防学習③④
8日(月) 委員会 水泳指導終了 計測3年	29日(月) クラブ活動
9日(火) 避難訓練 保護者会1、2、3、4年 計測4年	30日(火) 5年カリオスタット
10日(水) 計測1年	— 10月 —
11日(木) 保護者会5、6年	1日(水) 都民の日(授業はありません)
12日(金) 2年生活科見学(郵便局)	2日(木) 安全指導
13日(土) 学校公開日③	3日(金) 美化日
16日(火) 秋の歯科検診1、3、5年	6日(月) 委員会 避難訓練
	7日(火) 5年移動教室事前検診
	8日(水) 5年移動教室始(軽井沢) (～10日まで)

※ 11日の5年生の保護者会は、移動教室の説明会を兼ねます。

## 校内研究について

研究推進委員会

1学期前半では、5月に「体づくり運動」の実技研修、7月に5年が研究授業を行いました。「体づくり運動」とは、運動経験が不足しがちな現在の児童の実態を踏まえたもので、体の移動やバランスを取る動きなどから構成される運動をする学習のことで、ここで学習した様々な動きは、今後学習する運動やスポーツにつながっていくとともに、日常生活の中に生かされていくものです。授業では、自分や友達の体の動きを意識させながら、自分なりにめあてをもって運動できるように指導を工夫しています。児童が意欲的に運動に取り組めるように、全校で取り組んでいます。

<校内研究 今後の予定>

9月24日(水)	実技研修「小型ハードル走の指導のポイント」 「体づくり運動のアイデア」
10月29日(水)	実技研修(内容未定)
11月5日(水)	研究授業 4年「小型ハードル走」

## 「成長実感」 下田移動教室を終えて

6年担任

実行委員を中心に、この移動教室を経験することによって自分や集団が成長したことを実感できるものにしよう。ということで「協力し、つながり深めて 成長実感」というスローガンを意識して、質の高い4日間を過ごしてきました。 <児童の作文から抜粋>

\* 5年の移動教室は、大人に手伝ってもらったり、自分たちで考えずに先生に聞いて行動したりしていました。今思うと全く成長を感じられなかったと思います。でも、今年は5分前行動も室長を中心に協力して出来たり、係の仕事も先生を頼らず分からないことは友達と相談して決めたりすることが出来ました。

\* (前略) 室長の仕事で失敗してしまった。班員全員に関わることだから大事だ。それを友達にフォローしてもらいながらも達成したことは自信になった。(中略) この移動教室で学んだことそれは、失敗は成長のためにあるということだ。失敗がなかったら、乗り越える山がない。だからこれからも失敗と向き合い成長していきたい。

城ヶ崎ピクニカルコースや盥(たらい)岬から弓ヶ浜までのハイキングで自然を満喫したり、魚釣りやアジの開きを体験・海中水族館や地球博物館の見学をしたりと盛りだくさんの行程を全員元気にクリアしました。

## セーフティ教室のお知らせ

生活指導部

「様々な犯罪や誘惑が身近にあることを知り、規範意識を身に付ける」「正しい行動が身を守ることにつながることを知ると共に対処方法を身に付ける」ことをねらいとし、セーフティ教室を行います。是非ご参観ください。

日時	9月19日(金)	2校時…(9:30~10:15) 1, 2, 3年生 3校時…(10:35~11:20) 4, 5, 6年生
場所	体育館	
対象	全児童、保護者、地域の方	
内容	1, 2, 3年生…不審者対応、自転車の安全な乗り方 4, 5, 6年生…薬物乱用防止、万引き防止、情報モラル	

体育館終了後は、会議室で意見交換会もありますので、併せてご参加ください。

## 夏休み水泳指導を終えて

夏休み前半は暑い日が続き、多くの子供たちが学校の水泳に参加しました。後半は気温が下がり雨も降り中止の日もあり、検定ができませんでした。

夏休みの水泳指導は、教員と外部指導員合わせて5人以上の体制で安全と健康第一で行いました。課題別練習では、自分のめあてに沿って練習し個別に見て声をかけてあげられるので、毎日熱心に通っている子は日々泳ぎ方がきれいになったり、泳げる距離が伸びたりと日々成長が見られました。

どの学年も最後の水泳の授業で今年度最後の検定を行いますので、自分のめあてに向けてこの夏の成果を発揮してほしいと思います。